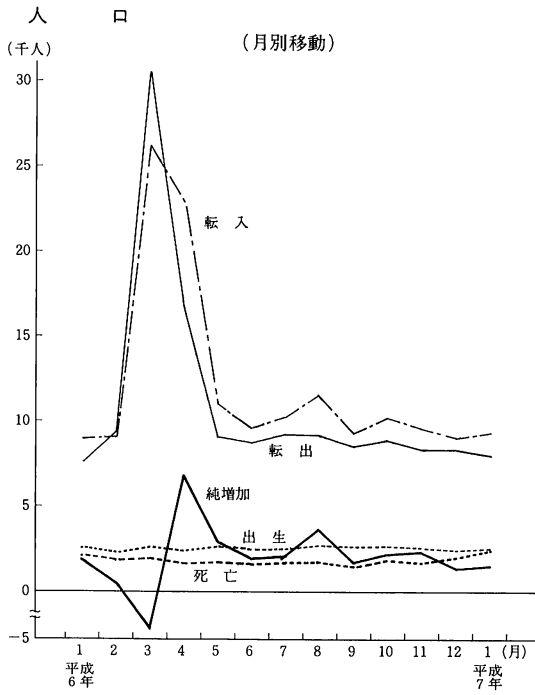
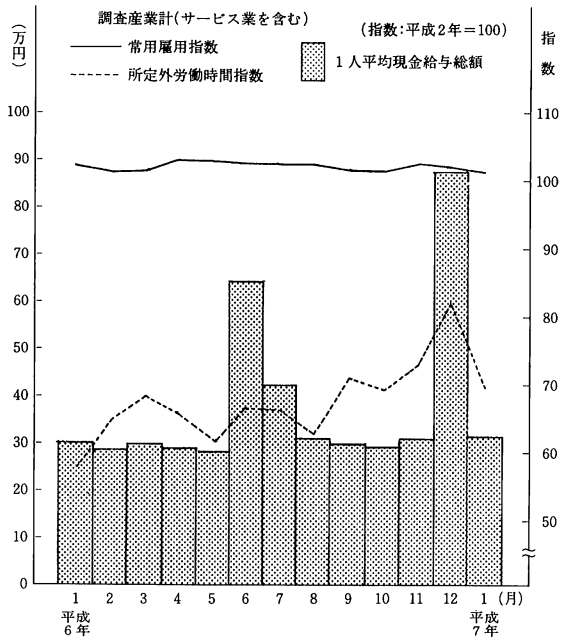


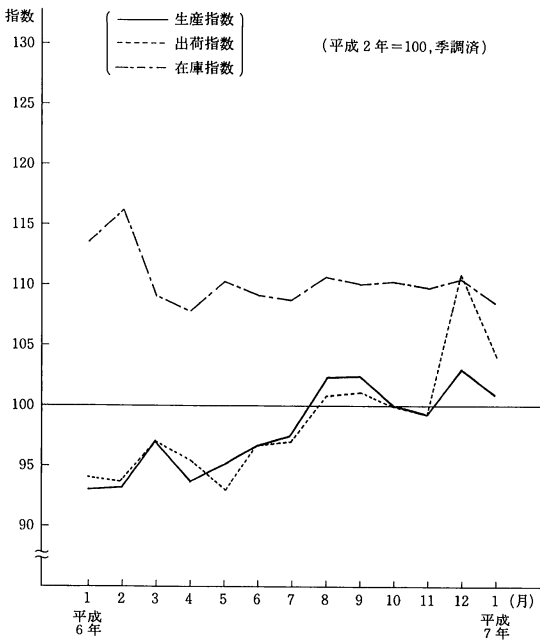
# 今月の主な動き



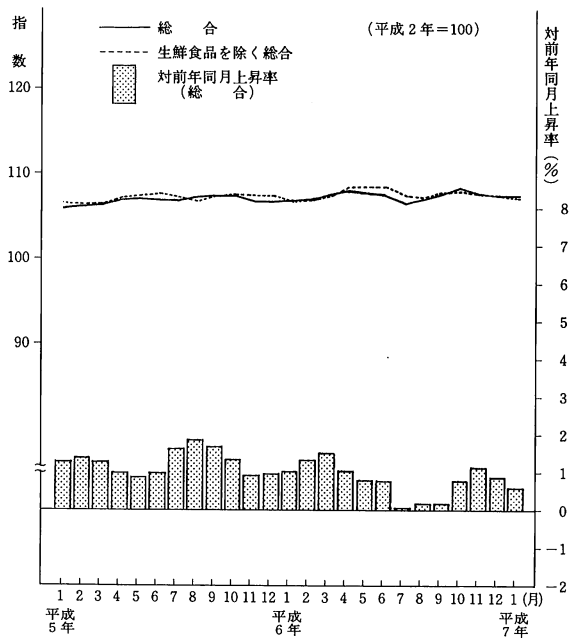
## 賃金・労働時間・雇用



## 鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



## 消費者物価指数



主な動きのあらまし ..... 企画部統計課

■ 人 口 (2月1日)

本県の人口は、1月中に1,374人増加し、2月1日現在で、2,955,916人(男1,477,809人、女1,478,107人)となった。

内訳は、自然動態で35人(出生2,513人、死亡2,478人)増加し、社会動態で1,339人(転入9,336人、転出7,997人)増加した。前年同月と比べると21,676人(0.74%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が17市32町村、減少が2市33町村、増減なしが2町村である。

世帯数についても1月中に、1,102世帯増加し917,051世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

1. 平均賃金の推移

1月の現金給与総額は、調査産業計で317,194円、対前年同月比3.5%増、このうち、きまって支給する給与は298,234円、対前年同月比3.3%増であった。また、このうち、所定内給与は271,560円、対前年同月比2.0%増であり、超過労働給与は26,674円、対前年同月比18.8%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比3.3%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

1月の総実労働時間は、調査産業計で147.1時間、対前年同月比0.6%増であった。このうち、所定内労働時間は133.6時間、対前年同月比1.0%減、所定外労働時間は、13.5時間、対前年同月比19.6%増であった。

3. 雇用の動き

1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.9%減であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (1月)

本県における平成7年1月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が101.9、出荷が110.0、在庫が111.0で、前月比は、生産が2.2%の低下、出荷が6.4%の低下、在庫が2.0%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が8.5%の上昇、出荷が11.0%の上昇、在庫が4.4%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、輸送機械工業、化学機械工業等が上昇し、一般機械工業、電気機械工業、繊維工業等が低下した。出荷では、精密機械工

業、鉄鋼業、輸送機械工業等が上昇し、一般機械工業、電気機械工業、鉱業等が低下した。在庫では、鉱業、石油・石炭製品工業、電気機械工業等が上昇し、食料品・たばこ工業、繊維工業、非鉄金属工業が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、鉱工業用生産財、耐久消費財が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。出荷では、鉱工業用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財が低下した。在庫では、耐久消費財が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (1月)

平成7年1月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.4(平成2年=100)となり、前月比0.1%の下落、前年同月比0.6%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……果物13.7%、野菜・海草6.7%、魚介類3.6%、外食1.9%

今月の下がった主な項目……衣料10.1%、シャツ・下着8.2%、生地・他の被服類3.5%

生鮮食品を除く総合は107.0となり、前月比0.6%の下落、前年同月比は0.3%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.4	△0.1	0.6	保健医療	102.7	0.1	0.2
食 料	108.4	2.2	0.3	交通通信	99.0	0.0	△0.4
住 居	115.6	△0.1	1.7	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.4	△0.1	0.5	教養娯楽	110.1	0.4	0.6
家具・家事用品	98.0	△1.1	△2.2	諸 雑 費	104.8	0.1	1.4
被服及び履物	106.5	△7.6	0.3	生鮮食品を除く総合	107.0	△0.6	0.3